

# ねむろトピックス

厚床へき地保育所の  
おともだち

夢・ままきくなったから



むらこし ひなた  
村越 陽ちゃん (6才)  
“家をたてたいから、  
大工さん”になりたい!



ふじなみ めぐみちゃん (5才)  
藤波 めぐみちゃん (5才)  
“病気の人を助けてあげたいので  
看護師さん”になりたい!



おおもり ゆづきちゃん (3才)  
大森 ゆづきちゃん (3才)  
“料理がしたいので  
パン屋さん”になりたい!

DREAM



5月24・26日、根室公園で根室市民有志でつくる実行委員会(北 信二代表)による「根室公園夜桜ライトアップ」が行われました。



6月13日、「第33回根室市少年弁論大会」が開催されました。20名の若き弁士が、北方領土問題などをテーマに熱弁を振るいました。



6月18日、「根室さんまロール寿司」の発表会が総合文化会館で開催され、取り扱い7店舗から出品されたお寿司を味わいました。翌19日には、各店で一斉に販売が開始されました。

## 図書館

「静かな憩いのときを あなたの図書館で」

### 根室空襲とリンドバーグ

昭和20年7月14・15日、J. S. マケイン中将指揮下の米第二十八機動部隊による大型空母、軽空母の艦載機によって北海道が空襲され、根室市は死者199名(「根室市史」調べ)と言われ、市街の八割が消失しました。

根室空襲には四種類の軍用機が使用され、その1機(コルセア機)の開発には、根室に由縁のある人物が関わっていました。チャールズ・リンドバーグ(1902~1974)その人で、昭和6年、アン夫人を伴い、航空会社の航空路開発のため根室を訪れ、日本中で大歓迎を受けました。

リンドバーグは、長男を誘拐事件で亡くした後ヨーロッパへ渡り昭和16年に帰国後、民間人の立場で戦争協力を申し出てB24爆撃機の改良など、米国内で軍用機の開発計画に積極的に参加しました。



▲空襲後の根室市街

後に、南太平洋戦線へ向かい日本軍と対峙しコルセア機の改良に力を注ぎました。この結果、爆弾の搭載量は飛躍的に増加し、この後、艦載機として空母に搭載され日本各地の空襲に用いられました。それが根室空襲にも使用され、空襲参加総数機120機中38機(「根室空襲」より)を数えました。

歴史に「もしも・・・」は無いと言われていますが、リンドバーグの協力は興味深いものです。

嘱託司書 浅野 正弘

※J. S. マケイン中将は、現共和党大統領候補J. S. マケイン氏の祖父

【参考文献(図書館所蔵)】

「孤高の鷲 リンドバーグ第二次世界大戦参戦記」下巻 リンドバーグ著 学習研究社  
【根室市図書館 ☎(23)5974番】